

## 【OIE 情報】 中国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N2) の発生について

中国河北省における高病原性鳥インフルエンザ (H5N2) の発生について、2013年12月21日付けで OIEへ報告 (緊急報告) がありましたのでお知らせいたします。

なお、中国における直近の高病原性鳥インフルエンザのOIEへの報告は、2013年5月13日付けのチベット自治区における家きんの発生報告 (H5N1、同年5月13日発生) です。また、2013年11月25日付け中国農業部の公表情報によると、同年7月、家きんの病原学的サンプルを検査し、H5N1亜型鳥インフルエンザウイルス陽性サンプルが検出されています (重慶市、湖南省、広西チワン族自治区)。

出典：OIEウェブサイト (2013年12月21日付)

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14553](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14553)  
(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

### 【概要】

- ・発生数：1件 (緊急報告)
- ・発生日：2013年12月21日
- ・OIEへの報告日：2013年12月21日
- ・血清型：H5N2 (高病原性)

### 【発生状況】

- ・発生場所：河北省保定市焦庄郷朱庄村

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん	129,700	4,000	4,000	125,700	0

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中

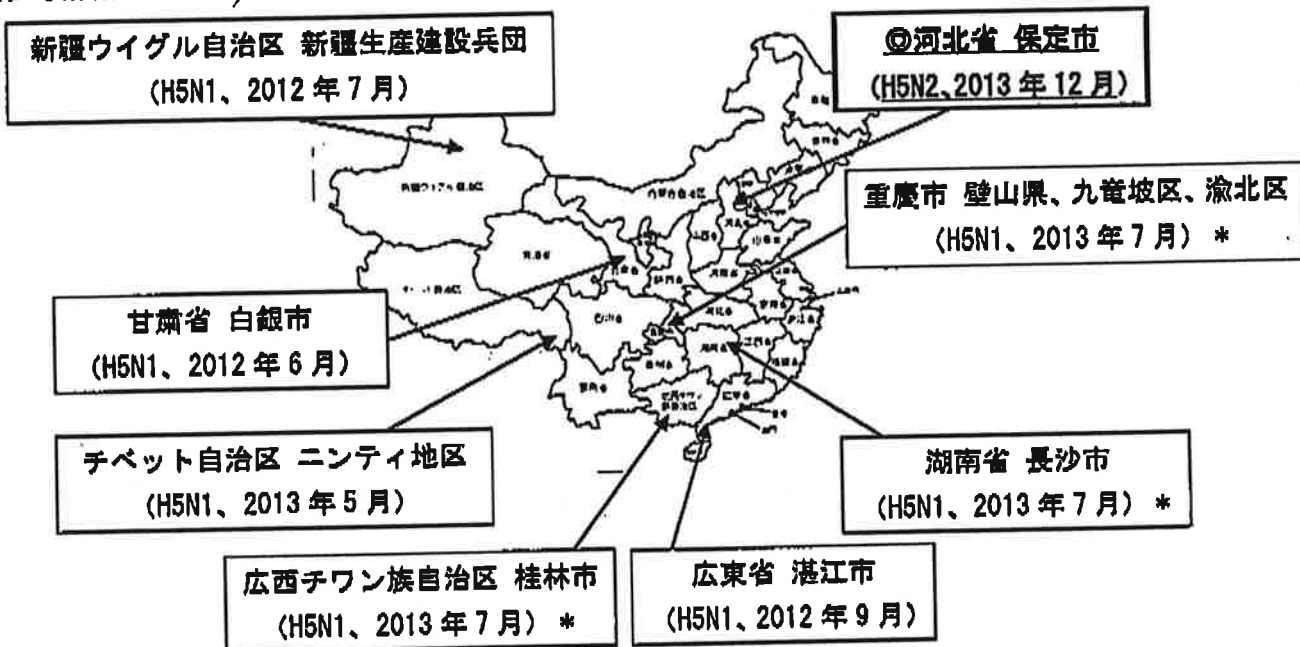
### 【対応】

- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・発生に応じたワクチン接種なし
- ・患畜を治療対象としない

### 【診断】

- ・診断施設：Harbin Veterinary Research Institute, Chinese Academy of Agricultural Sciences  
(OIEリファレンスラボラトリー)
- ・診断法：赤血球凝集抑制試験、RT-PCR、ウイルス分離 (いずれも陽性、2013年12月21日)

【参考情報：中国における高病原性鳥インフルエンザ発生地図(2012年6月以降)】



\*) 中国当局公表資料：生鳥市場で確認 (OIE 未報告)